

## 中結腸動脈が脾動脈より分岐していた1例

八巻孝史 大山繁和 加藤浩樹 関 誠 太田恵一郎  
松原敏樹 太田博俊 高橋 孝 中島聰總 武藤徹一郎

癌研究会附属病院外科

### はじめに

中結腸動脈が脾動脈より分岐していた稀な1例を経験したので若干の文献的考察を加え報告する。

### 症 例

37歳. 男性. 1999年7月20日左季肋部痛を主訴に前医を受診し脾炎として加療され, 症状は軽快していた. その後, 体重減少(7 kg/4ヵ月)と軽度の左季肋部痛をくり返し, 腹部X線CTにて脾尾部に腫瘤影を指摘され, 1999年11月24日当科紹介入院となった.

腹部X線CT: 脾尾部に径2.5 cmのLDA, 腫瘤の尾側の実質は不明瞭であった.

ERCP: MPDは尾部で狭窄, 蛇行し, さらに尾側で拡張していた.

血管造影: 脾横動脈, 大脾動脈の末梢でencasementあり. 脾動脈起始部より脾背動脈と横行結腸へ向かう中結腸動脈が分岐していた.

1999年12月1日脾体尾・脾切除術を施行した. 動脈の処理は脾動脈根部より分岐する中結腸動脈を確認, 温存し, その末梢で切離した. 手術所見はTS2, 結節型, S0, Rp0, CH0, DU0, PV0, A0, PL(-), P0, H3, N(-), PW(-), EW(-)であった. 術後16日で退院し, 現在, 外来にて経過観察中である.

### ま と め

中結腸動脈は通常, 上腸管脈動脈の第一結腸枝であり, 脾体下縁付近で上腸管脈動脈の右縁から起るが, 下脾十二指腸動脈と共通幹をつくることもあり, 脾臓と近接しているため留意すべき血管とされている. 本症例のような稀な分岐はAdachi, Tandler, Corningらの動脈の解析にも認められず, 稀な分岐形態である. 脾周囲を処理する術式の際は, 本症例のような血管分岐も考慮し, 血管造影を参考に副損傷に注意すべきと考えられた.